

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

## 91歳の巨匠が振る ブルックナー & ベートーヴェン

乱れ咲く、リズムと響き。  
止むことのない、永遠なる美の追求。

# BRUCKNER No.0 SYMPHONY BEETHOVEN No.7 SYMPHONY

ブルックナー：交響曲 第0番 二短調 WAB.100

ベートーヴェン：交響曲 第7番 一長調 作品92

Conductor STANISLAW SKROWACZEWSKI

指揮 **スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ** (桂冠名誉指揮者)

Concertmaster KOTA NAGAHARA

コンサートマスター 長原幸太

The 11th Yomikyo Metropolitan Series  
Wed. 8th Oct. 19:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

読売日本交響楽団 第11回 読響メトロポリタン・シリーズ

2014年 10月 8日(水) 19時開演

東京芸術劇場コンサートホール

S ¥7,200 A ¥5,100 B ¥4,100 C ¥3,000

The 541st Subscription Concert  
Thu. 9th Oct. 19:00 / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第541回 定期演奏会

2014年 10月 9日(木) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

お申し込み・お問い合わせ **読響チケットセンター 0570-00-4390** [10時-18時・年中無休]

<http://yomikyo.or.jp/> プレイガイド：チケットぴあ、e+ ほか

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団  
協力：アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) [10/9]

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) [10/9]  
事業提携：東京芸術劇場 [10/8]



# 青年の気魄を持つ巨匠、 新しい光を放つ。

東条碩夫(音楽評論家)

巨匠スクロヴァチェフスキは、読響を指揮して、これまで数多くのブルックナーの交響曲を演奏してきた。

その中には、超弩級の名演がある。特に、〈第7番〉と〈第8番〉は凄かった。たとえばあの〈第7番〉の第2楽章! 淡麗で質朴な叙情美が堰を切つてあふれ出し、ヴァイオリンが美しく歌う有名な第2主題には、満員の聴衆が息を呑んでじっと聴き入った。まさに至福の雰囲気であった。ご記憶の方も多いただろう。

スクロヴァチェフスキが指揮するのは、高齢の巨匠が多く採るような、悠然とした音楽ではない。むしろ引き締まって鋭い、荒々しい推進力に富んだ、生身の人間の息づかいを感じさせるブルックナーなのである。それは、この指揮者が今なお青年の気魄を持ち続けていることの証明である。

今回は、いよいよ〈交響曲第0(ゼロ)番ニ短調〉である。

0番??

こんな妙な番号が使われるのは、ブルックナーの交響曲の場合だけだ。彼は〈第1番〉を書いたあとにこの〈ニ短調交響曲〉を書いた\*が、元来自信心家でなかった彼はそれを「習作」程度の水準と考え、別に新しく〈第2番〉を作曲した。そして習作交響曲の楽譜には「ヌルテ NULLTE」という文字を書き込んだ。ただ、それが本当に「0番」の意味なのか、あるいは「価値なし、ゼロ」の意味なのかどうかは謎である。しかし、習作にしてはなかなかいい曲で、無視するのはもったいないというわけで、「0番」なる番号のもとに出版されるに至ったのである。演奏される機会は決して多くはないが、勢いのいい、面白い交響曲だ。この機会に、ぜひ聴いてみることをお奨めする。

もう一曲は、ベートーヴェンの〈第7交響曲〉だ。昔は「バッカスの狂乱」とか、「リズムの饗宴」などと呼ばれた。近年ではTVドラマ「のためカンタービレ」で、改めて人気が発火したシンフォニーである。

スクロヴァチェフスキのベートーヴェンは、ありきたりの演奏ではなく、たとえばある声部やリズムを浮き彫りにし、聴き慣れていた曲に思いがけぬ多彩さを与える、というタイプなのだ。「不滅のアレグレット」と嘆賞されるあの第2楽章は、彼の指揮により、どのような新しい光を放つだろうか?

\*筆者注:(第1番)より以前に(ニ短調)の「初稿」が書かれていたとみる旧来の説も、未だ完全に否定されたわけではない。



指揮

スタニスラフ・  
スクロヴァチェフスキ

Conductor STANISLAW SKROWACZEWSKI

90歳を超えても精力的に活動を続ける世界的巨匠。2007年から読響・第8代常任指揮者を、10年からは桂冠名誉指揮者を務めている。1923年10月3日、ポーランドのリヴォフ(現在はウクライナ領)生まれ。4歳よりヴァイオリンとピアノを始め、7歳でオーケストラ曲を作曲。ピアニストを目指すも、戦争中に手を負傷し、作曲と指揮活動に専念する。40年代後半から本格的な指揮活動に入り、ポーランド各地のオーケストラのポストを歴任。ミネソタ管の音楽監督、ワルシャワ国立響の首席指揮者、英・ハレ管の首席指揮者も務めた。ベルリン・フィルやフランクフルト放送(hr)響、ロンドン・フィルなどに客演している。現在はミネソタ管の桂冠指揮者、ザールブリュッケン・カイザーズラウテルン・ドイツ放送フィルの首席客演指揮者。

©読響

読響日本交響楽団 第11回 読響メトロポリタン・シリーズ

2014年 10月8日(水) 19時開演

東京芸術劇場コンサートホール

S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C ¥3,000

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(\*駅地下通路2b出口と直結しています)

読響日本交響楽団 第541回 定期演奏会

2014年 10月9日(木) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,200 / A ¥6,100 / B ¥5,100 / C ¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001(オフィス)

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分、東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

【託児サービス】東京芸術劇場には一時託児施設があります。芸術キッズルーム muse(ミュージズ) 03-3981-7003 [10/8公演]

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【団体割引】読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

【都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。】■未就学児のご入場は、回くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

\*座席を選んでチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンを除く)  
\*チケットを郵送ご希望の場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(10/8公演分)、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(10/9公演分)、イープラス <http://eplus.jp/>